令和４年度　事業実績について

社会福祉法人　内潟療護園

目次

①	**内潟療護園拠点**	**Page　1**
②	**第二うちがた・五所川原地域拠点**	**Page　7**
③	**きりん館・地域福祉センター拠点**	**Page20**
④	**本部**	**Page43**

内潟療護園　福祉課

生活支援

1　実施状況

①　職員のスキルアップを図るため、職場外研修（オンライン研修）への参加と、職場内研修として「勉強会」を開催、また、外部講師を招き研修を実施する。来年度も動向を見ながら感染予防に努めて参加を進めていく。

②　医療的ケアの体制を整えるため、青森県で実施している喀痰吸引等研修（第二号研修）に２名の職員と指導看護師の伝達講習に１名の看護師を派遣した。また、実地研修等による指導のもと、認定特定行為業務従事者としての認定を受けることができた。

③　コロナ禍のため、恒例の行事で家族参加ができなかったが、面会等は制限を設けて実施を再開して利用者から笑顔が見られた。また、飲食を伴わない外出も行われ気分転換も図られた。施設内では職員が趣向を凝らしたレクリエーション（ボーリング、ピンボール等）で一緒に楽しめる場を作った。季節を感じる飾り付けを行い環境づくりにも取り組んだ。来年度は基本的な感染対策に万全を期し、利用者がストレスなく楽しめるよう進めていく。

④　昨年８月の大雨特別洪水警報で、法人内の他施設が当園に避難して来たことで分かった課題を検討し、避難所開設マニュアルの見直しを行った。今後自然災害が発生した場合に備え、地域住民との連携体制の確立を図っていく。

2　利用状況

①　施設入所支援・生活介護の利用、入院、外泊の延べ日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年比
入所支援	930	954	901	961	961	926	947	926	914	901	841	960	11,122	935.6	72
入院日数	0	7	3	0	0	0	2	4	47	43	0	1	107	7.0	▲68
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▲7
稼働率	103.3	102.5	100.1	103.3	103.3	102.8	101.8	102.8	98.2	96.8	100.1	103.2		101.5	
生活介護	682	713	669	713	713	682	707	682	682	667	601	713	8,224	693.7	41
稼働率	103.3	103.3	101.3	103.3	103.3	103.3	102.4	103.3	98.8	96.6	100.1	103.3		101.8	
在宅利用	1	8	10	8	33	6	7	9	2	0	0	0	84	9.3	51

※　在宅利用：在宅からの生活介護利用者

②　年　齢

年齢／性別	18～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～79	80～	合計	平均
男	0	3	3	5	6	3	2	0	22	57.0
女	0	0	2	2	0	1	3	1	9	63.1
合計	0	3	5	7	6	4	5	1	31	58.7

③　障害者手帳障害等級

年齢／性別	１級	２級	A	B	合計
男性	18	4	0	0	22
女性	5	3	0	1	9
合計	23	7	0	1	31

④　市町村別利用者数

	青森市	弘前市	五所川原市	黒石市	つがる市	平川市	中泊町	鶴田町	深浦町	今別町	外ヶ浜町	蓬田村	合　計
男性	2	1	5	1	6	0	3	1	0	0	1	2	22
女性	1	0	1	0	1	1	2	1	1	1	0	0	9
合計	3	1	6	1	7	1	5	2	1	1	1	2	31

⑤　**退所区分状況**

理由 年度	在　宅		他施設等に転所		長期入院		死　亡		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
R2 年度	0	0	0	0	0	0	2	0	2
R3 年度	0	0	0	0	0	0	2	1	3
R4 年度	0	0	0	0	0	0	2	2	4
合計	0	0	0	0	0	0	6	3	9

⑥　**在所期間の状況**

期間 性別	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上	合計
男性	4	3	0	6	0	9	22
女性	1	1	0	1	2	4	9
合計	5	4	0	7	2	13	31

⑦　**障害支援区分**

区分 性別	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
男性	0	0	0	1	5	16	22
女性	0	0	0	0	1	8	9
合計	0	0	0	1	6	24	31

平均障害支援区分　5.74

ショートステイ

1　実施状況

障害者総合支援法による障害者の短期入所事業及び介護保険法による基準該当短期入所（中泊町）を８床（昨年８月増床）の定員で行っている。今年度は延べ 1,947 人の利用で前年比 63 人増であった。新規利用相談８名の受入れに対応し、うち緊急的に利用相談のあったケースにも受け入れ対応した。

2　利用状況　（延べ日数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障がい者	68	111	132	178	242	240	208	155	112	143	146	172	1907
高齢者	0	1	19	0	0	0	0	0	20	0	0	0	40
合 計	68	112	151	178	242	240	208	155	132	143	146	172	1947
稼働率	32.3	51.6	71.9	82.0	97.5	100.0	83.8	64.5	53.2	57.6	65.1	69.3	69.0

日中一時支援

1　実施状況

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の中の一つのサービスで、日中障害福祉サービス事業所、障害者支援施設において、障害者等に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練等を目的とするものであるが利用はなかった。

2　利用状況

利用実績なし

医務

1　実施状況

①　内科嘱託医による年２回の定期健診の実施（１回/年　採血検査含）
②　結核検診の実施
③　感染予防対策の実施・マニュアルの再確認
④　職員の健康管理への助言

2　評価

①　新型コロナウイルス感染症に関しての情報収集を行い、当保健所管内での感染発生時には、特に注意を払ってその都度対応策を協議した。
②　令和４年度、入所利用者入院は６名。入院延べ日数 128 日。前年度より 62 日減少している。うち３名は容態急変し入院先で亡くなっている。また、早めの受診で数日間での入院で退院できている方や延命処置を望まず看取り介護を実施した方もいた。
③　高齢化と障がいの重複により病気に対する抵抗力が低下してきている利用者が増えている。病気を発症・再発をすると急速に重症化しやすい傾向にある。そのため、特有の症状だけでの判断ではなく、全身の状態を観察しながら対応していく。また、今後は看取り介護に関しても対応できるように努めたい。
④　感染症に関しては、尿路感染症等による発熱や体調不良、経口摂取していない方の誤嚥性肺炎等みられたが、インフルエンザに罹患する利用者はおらず、職員及び職員の家族内で感染症の発生あるも施設内に持ち込まれることなく利用者への感染もなく予防できた。今後も感染症が発生しても最小限にとどめるよう努力し、感染症を施設に持ち込まないことと感染拡大の予防を徹底していく。
⑤　職員の健康管理について、健康診断の受診を促し、要再検査項目については助言し体調管理に努めた。体調不良による休養等はあったが当事者の状況把握に努め、適切な助言ができるよう努めた。今後も継続していきたい。

機能回復訓練「理学療法」

実施状況

①　機能回復訓練

隔月で理学療法士福島真人先生が来園し、診察・指導・助言のもとに、月曜日から金曜日（午前、午後）までは専従の上田法訓練士と補助員、土曜日と日曜日は福祉課職員の協力を得ながら主に上田法の施行を個別支援計画に沿って実施した。参加人数は利用者 32 名、ショートステイ利用者６名。上田法の実施によって過緊張を和らげ、関節可動域の拡大、腹部膨満の緩和、各関節拘縮予防効果がみられた。

■　福島理学療法士：延べ 18 名

②　補装具・自助具

各補装具の故障や破損、日常生活機能の変化等による補装具の購入・修理申請等の代行。また、自助具に関する相談、助言の実施。主な補装具は車椅子 34 名、下肢補装具３名の利用者が日常生活で使用している。当該利用者の車椅子・短下肢補装具の購入・修理申請等の代行を実施した。

⑴　購入申請：車椅子１件
⑵　修理交付申請：車椅子８件
⑶　定期的座圧測定の施行、車椅子ブレーキ、張調整、パンク等の修理施行

③　福祉機器及び介護用品

安心、安全な移乗を目的とし、福祉機器（床走行リフト）のメンテナンス等を定期的に業者へ依頼して不備がないよう管理した。

機能回復訓練「言語聴覚療法」

実施状況

①　日々変わる利用者の摂食嚥下状態を福祉課・給食の協力のもと観察し、食事形態の変更を行った。
②　歯科衛生士指導のもと、口腔ケア内容や必要な物品を見直し、個別マニュアルを作成して各居室に掲示した。
③　福祉課の協力を得ながら、昼食前の食前体操を継続して利用者の気分転換を図りながら発生嚥下機能の維持に努めた。
④　　個別訓練は、できる機能の維持を目標に利用者一人ひとりに合わせたプログラムで行った。

給食（内潟療護園）

実施状況

① バイキング食

利用者の嗜好や要望を取り入れたメニュー。年間行事やイベントに合ったメニューで季節を感じられるよう工夫し、バンキング食を楽しんでいただいている。

「実施日」：　隔週木曜日の昼食　　「実施回数」：　令和４年度　21 回

（うち２回パンバイキング、ミスタードーナツバイキング）

② 定食の日

令和 2 年 11 月からバイキングのマンネリ化を解消するため、外食風メニューで楽しんでいただいている。

「実施日」：　隔週木曜日の昼食　　「実施回数」：　令和４年度　23 回

③ 選択食

２種類のメニューから好きな料理を選んでいただき、利用者に選ぶ楽しみが作り出せるように組み込んでいる。（主食・主菜のみ選択）

「実施日」：　隔週火曜日の夕食　　「実施回数」：　令和４年度　24 回

④ 丼の日

令和２年 11 月から選択食のマンネリ化を解消するため、利用者さんから要望の多い丼メニューのバリエーションを増やして提供している。

「実施日」：　隔週火曜日の夕食　　「実施回数」：　令和４年度　23 回

⑤ 麺類の提供

「実施日」：　毎週月曜日の昼食

暑さで食欲が落ちてしまいがちな時期には、麺類を月２回増やして夏バテ、スタミナ不足にならないよう食事面からサポートしている。

⑥ 熱中症対策

「実施日」：気温が上昇する６月末から９月末の間、塩分補給として昼食時に味噌汁、水分補給として夕食時果物の提供をしている。

⑦ 特別食・治療食

利用者の摂食状況、健康状態に合わせた食事の提供をしている。目で見ておいしい食事の提供とし、令和２年３月から軟菜食の提供、令和２年５月からソフト食の提供を開始。

「特別食」：　ミキサー食、ソフト食、刻み食、軟菜食

「治療食」：　糖尿病食、痛風食、高脂血症食、ダイエット食

塩分を控えた食事の提供。だしのうま味を活かした調理で薄味を心がけて減塩に努めている。

⑧ 災害食

非常事態に備え、食材の備蓄、災害時を想定した「災害食体験日」を設け食事の提供を行い、利用者、職員共に災害に対する意識を高めるように取り組んでいる。

「実施日」：　不定期の昼食　　「実施回数」：　令和４年度　１回

⑨ 衛生管理

日　常	・正しい手洗い、手指消毒の徹底 ・調理従事者の毎日の検温、健康、衛生チェック ・衛生手袋、マスクの着用による調理、盛りつけ、検食の保存 ・冷蔵庫、冷凍庫での温度管理をした食品保存 ・給食施設内温度、湿度管理をした給食業務 ・加熱調理時の食品の中心温度管理 ・食品ごとの、まな板、包丁、ボール、ザル等の用具の分別 ・配膳車、調理台、配膳台、取っ手の除菌 ・調理器具の洗浄、漂白 ・シンク、排水溝、床の清掃

週　間	・検収室、勝手口等の清掃及び食器棚、食品庫の整理整頓 ・冷蔵庫、冷凍庫、換気扇、洗浄機の清掃
月　間	・検便（10 月～3 月ノロウイルス検査含む） ・ねずみ、虫害の駆除
年　間	・サッシ、網戸の清掃及び大掃除

⑩　行事食

月日	行事	主な料理
4/26	お花見会 （施設中庭開催）	**お花見弁当**：ご飯、赤飯、紅鮭塩焼き、鶏唐揚げ、エビフライ、豚角煮、だし巻卵、小松菜辛子和え、一口昆布巻き、筍土佐煮、果物（苺、キウイ） **バーベキュー**：牛カルビ、牛タン、焼き鳥
7/7	七夕バイキング	七夕そうめん、おいなり、星形コロッケ、夏野菜コールスローサラダ、卵豆腐、七夕クレープ
7/21	土用の丑バイキング	うなぎちらし寿司、天ぷら（海老、アスパラ）、卵豆腐、お吸い物（素麺）、スイカ
8/13 ～ 8/15	お盆（夕食）	13 日：赤飯、銀鮭西京漬け焼き、野菜炊き合わせ、ほやの水物、お吸い物、パイナップル 14 日：天ぷら（海老、舞茸、アスパラ）、豚角煮、胡麻豆腐、お吸い物 15 日：ちらし寿司、茶碗蒸し、なます、しじみ汁、スイカ （13 日～15 日　ジュース、お酒）
9/1	災害体験食	中華丼（レトルト）、すき昆布の煮物、味噌汁、白桃缶詰
9/10	十五夜（お供え）	さつまいも、南瓜、林檎、梨、葡萄 2 種類、日本酒
9/14	納涼祭（施設内開催）	バーベキュー おにぎり、焼きそば、海老塩焼き、野菜串焼き、たこ焼き、フランクフルト、ししゃも、とうもろこし、胡瓜辛子漬け、しじみ汁、葡萄、梨、チョコバナナ、かき氷、ジュース 焼肉（牛カルビ、牛タン、豚バラ）
10/19	焼き芋会	さつま芋（紅はるか、シルクスイート、安納芋）
11/1	寿司の日	にぎり寿司 5 貫（うに、サーモン、鯛、鮪、蒸し海老）、ミニ天ぷら蕎麦、ささげ炒め 葡萄ゼリー
12/22	クリスマス会	ちらし寿司、からあげくん、ローストビーフ、ピザ、カップラザニア、スモークサーモンマリネ、ジュース
12/27	もちつき	お汁粉、大福餅、柔らか団子
12/31	大晦日	昼食：年越しそば（海老天ぷら）、野菜の卵とじ、珈琲ゼリー 夕食：にぎり寿司（海老、鮪、しめ鯖、うに、サーモン） おせち（伊達巻き、黒豆、昆布巻き、栗きんとん、かまぼこ、いくら） 彩り野菜の煮物、お吸い物
1/1 ～ 3	正月	1 日：鰻蒲焼、だし巻玉子、ほうれん草カニカマ和え、人参の子和え、粥の汁 2 日：天ぷら（海老、舞茸、ちくわ）、菊しおから、胡麻豆腐、お吸い物 3 日：ちらし寿司、茶碗蒸し、なます、しじみ汁、珈琲ゼリー （1 日～3 日　ジュース、お酒）
2/2	節分定食	恵方巻き 3 種類、鰯のフライ、キャベツサラダ、五目煮豆、けんちん汁、珈琲ゼリー
3/3	ひな祭り バイキング	ちらし寿司、天ぷら（海老、野菜かき揚げ）、かぶ甘酢漬け、お吸い物、ストロベリーゼリー 甘酒

営繕（内潟療護園）

実施状況

種類	作業内容	件数
修　繕	施設内外の不具合修繕：コールボタン、漏電、手摺、引き戸、クロス張替え、外壁、換気扇、エアコンほか	94 件ほか
整　備	施設内外整備：草刈り、花壇整備、剪定、耐震ポール設置、TV 転倒防止ベルト取付、ペーパーホルダー取付ほか	91 件ほか
活　動	教養娯楽活動：スマートボール制作、ボーリングスライダー制作、ねぶた制作	4 件

行事・外出・レクリエーション

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	5日	利用者懇談会	18名		17名
	26日	花見会（施設駐車場）	34名		30名
5月	5日	園内散歩	12名		2名
	10日	利用者懇談会	14名		19名
6月	7日	利用者懇談会	15名		16名
	9日	園内散歩	7名		2名
	21日	園内散歩	13名		4名
	30日	ホットケーキ作り	30名		3名
7月	5日	利用者懇談会	20名		19名
	25日	書道	11名		1名
8月	4日	利用者懇談会	21名		17名
	4日	園内散歩	4名		1名
	25日	書道	7名		1名
9月	6日	利用者懇談会	19名		20名
	13日	納涼祭	27名		32名
10月	4日	利用者懇談会	18名		19名
	13日	読み聞かせ	7名		2名
	25日	すごろくゲーム	4名		1名
11月	1日	利用者懇談会	18名		17名
	3日	ハロウィンパーティー	22名		10名
	9日	買物外出（ジャスコ・エルム）	4名		4名
	10日	買物外出（ジャスコ）	3名		3名
	14日	買物外出（エルム）	3名		3名
	16日	買物外出（ジャスコ）	3名		3名
	21日	買物外出（金木ノア）	3名		3名
12月	4日	アルパジョンサンタ号来園	25名		6名
	6日	利用者懇談会	21名		19名
	22日	クリスマス会	32名		25名
	27日	もちつき会	21名		5名
1月	9日	利用者懇談会	20名		14名
2月	2日	節分	24名		7名
	7日	利用者懇談会	19名		20名
3月	2日	ひな祭り	21名		2名
	7日	利用者懇談会	23名		14名

※　その他にホールや玄関に季節の飾りつけ、昼食メニューボード作成、トランプ、花札、麻雀、魚釣り、パチンコ等行っています

第二うちがた　福祉課

生活支援

1　実施状況

①　地域ニーズの把握のため、相談支援事業所との連携と共に、情報収集・情報提供に努めた。特にコロナ禍でのサービス利用については、利用者の利用回数が減り、家族の介護負担が増える状況にありながらも、利用者・家族の理解、協力のもとで実施することができた。また、医療的ケアを必要とする生活介護利用者（通所）が安心して過ごせるよう、ショートステイ等の空き部屋を活用して感染症予防対策を強化しながらサービス提供を継続した。

②　職員のスキルアップを図るため、研修への派遣とテーマに沿い、職員自らが講師となり職場内研修を実施した。またコロナ禍での研修であったためオンライン研修を積極的に行った。

③　利用者からのニーズが高い医療的ケアの体制を整えるため、青森県で実施している喀痰吸引等研修に１名（第２号研修）を派遣し、認定特定行為業務従事者として認定を受けることができた。

④　令和４年８月９日、近隣を流れる松野木川が記録的豪雨により氾濫危険水位を超え、五所川原市より高齢者等避難指示が発令される。BCP（事業継続計画）に基づいて利用者の安全を一番に考え、早期に内潟療護園へ避難を実施し、翌８月 10 日に安全が確認できたため避難解除した。

2　利用状況

①　施設入所支援・生活介護の利用、入院、外泊の延べ日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年比
入所支援	930	961	930	961	961	930	961	929	961	961	848	941	11,274	939.5	▲27
入院日数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	20	20	41	3.41	▲25
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働率	100	103.3	103.3	103.3	103.3	103.3	103.3	103.3	103.3	103.2	100.9	101.2		102.5	
生活介護	765	834	784	807	751	773	804	775	803	791	696	806	9,389	782.4	▲241
（在宅）	105	149	143	133	68	114	123	113	137	142	103	144	1,474	122.8	▲217
稼働率	115.9	126.4	118.8	117.0	108.8	117.1	116.5	117.4	116.3	114.6	103.3	116.5		119.2	

※定員 30 名　　※（在宅）：在宅からの生活介護利用者

②　年　齢

年齢／性別	18～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～79	80～	合計	平均
男	2	3	2	1	8	2	2	1	21	55.8
女	0	0	0	3	2	2	2	1	10	63.4
合計	2	3	2	4	10	4	4	2	31	58.2

③　身体障害者手帳障害等級

年齢／性別	１級	２級	３級	合計
男性	19	1	0	20
女性	8	2	0	10
合計	27	3	0	30

④　知的障害者手帳障害等級

年齢／性別	A	B	C	合計
男性	0	1	0	1
女性	0	0	0	0
合計	0	1	0	1

※③④を合わせた合計 31 名

⑤　市町村別利用者数

	青森市	弘前市	五所川原市	つがる市	鶴田町	深浦町	中泊町	鰺ヶ沢町	外ヶ浜町	藤崎町	合　計
男性	1	1	7	5	0	1	0	4	1	1	21
女性	2	0	3	2	2	0	0	1	0	0	10
合計	3	1	10	7	2	1	0	5	1	1	31

⑥　退所区分状況

理由 / 年度	在　宅		他施設等に転所		長期入院		死　亡		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
R2 年度	0	0	0	0	1	0	0	0	1
R3 年度	0	0	0	1	0	0	0	0	1
R4 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	1	1	0	0	0	2

⑦　在所期間の状況

期間 / 性別	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上	合計
男性	0	2	1	6	5	7	21
女性	0	1	0	2	2	5	10
合計	0	3	1	8	7	12	31

⑧　障害支援区分

区分 / 性別	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
男性	0	0	0	0	2	19	21
女性	0	0	0	0	0	10	10
合計	0	0	0	0	2	29	31

平均障害支援区分　5.9

ショートステイ

1　実施状況

障害者総合支援法による障害者・障害児の短期入所事業を 8 床の定員で行ってきた。今年度は延べ 1,976 人の利用があった。前年比 101 人減である。

①　施設等への入所希望をした長期での利用が 5 名、在宅で他のサービス（生活介護）と組み合わせる定期的な利用者が 5 名（入所待機 2 名）とその他になっている。長期利用の 1 名が介護保険サービスへ移行し、新規 1 名が長期利用開始となっている。

②　長期・定期的な利用者の大半が、日中活動として施設の生活介護、ひだまり工房や他事業所へ通い、余暇を過ごしてその人らしい生活を送っている。

③　新型コロナウイルス感染症対策に伴い、一時的に受入れを休止せざるを得ない状況がありながらも、感染症予防対策を講じ、利用者・家族の理解、協力のもと安心・安全なサービス提供を行った。

2　利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	166	154	144	176	153	172	177	173	183	165	146	167	1976
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	166	154	144	176	153	172	177	173	183	165	146	167	1976
平均	5.5	4.9	4.8	5.6	4.9	5.7	5.7	5.7	5.9	5.3	5.0	5.3	5.3
稼働率	69.1	62.0	60.0	70.9	61.6	71.6	71.3	72.0	73.7	66.5	62.9	67.3	67.4
うち生活介護等利用者	37	34	33	32	21	33	31	31	34	23	29	32	187

日中一時支援

1　実施状況

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業「日中一時支援」におけるサービスを提供している（五所川原市・つがる市・鶴田町）が、昨年度は利用がなかった。

医　務

1　実施状況

①　年２回の基本健診、利用者全員の結核検診
②　感染予防対策の実施・指導・研修
③　喀痰吸引の実地研修
④　職員の健康管理についてアドバイス、指導、記録
⑤　利用者・職員のコロナワクチン、インフルエンザワクチンの接種
⑥　県の要請で（コロナ抗原検査）の職員集中的検査の実施と報告

2　評価

①　入院の延べ日数は前年度より 25 日増加となっているが、緊急入院ではなく、早期発見により早期治療につなぐことができたケースである。今後も長期入院の予防につなげる。
②　喀痰吸引等制度に基づき実地研修を行い、第二うちがた職員 1 名、ひだまり工房職員 1 名が取得した。今後も医療的ケア（たん吸引）の取組みを継続していく。
③　感染症に関しては、新型コロナウイルスを中心に伝達・実地研修を行った。全職員の協力により感染症が持ち込まれることなく過ごすことができている。
④　県の要請で、定期的に職員集中的検査（コロナ抗原検査）を実施したことで、陽性者がわかり、施設内に持ち込まれることなく未然に防ぐことができた。今後も継続して予防に努めていく。

機能回復訓練「理学療法」

①　機能回復訓練

一人ひとりの障がいや要望、体調に応じて気軽に参加できる訓練を心がけ、日常生活動作訓練、運動療法を継続的に行っている。隔月で理学療法士福島真人先生による指導、助言をもとに、上田法を主体として自動運動や他動運動、可動域訓練、起立装置を用いた起立訓練、ポジショニングなどを各部署の協力を得ながら実施。訓練参加者は 26 名（施設入所者 21 名、ショートステイ 1 名、通所 4 名）で過緊張や痙縮の緩和や維持効果がみられ、関節可動域の減少予防等にも効果がみられた。

②　補装具・自助具

補装具の故障や破損、身体機能の変化により補装具の交付申請・修理申請を代行し、補装具に関する相談や助言を実施。主要な補装具は車椅子（電動式を含む）で、現在 39 名の利用者が日常生活で使用している。主に座布、シート等の張替え、ブレーキ等の修理申請である。

⑴　交付申請（再交付含む）　車椅子　0 件　　下肢装具　0 件
⑵　修理申請　　車椅子　7 件　　下肢装具　1 件
⑶　その他　　申請以外にも小さな修理や利用者に合った自助具の購入等支援・助言なども行っている。

③　福祉機器及び介護用品

⑴　安心・安全な介護と業務の省力化を目的とし、利用者が快適な生活を送ることができるよう介護用品の選定や工夫を行った。
⑵　福祉機器の定期点検・修理（ベッド、床走行リフト、コールボタン等）を随時行った。

機能回復訓練「言語聴覚療法」

①　多職種と連携し、都度変化する利用者の摂食嚥下状態に合わせた食事形態や水分へのとろみ付けを調整した。
②　歯科衛生士による口腔ケア内容の見直しや、物品の変更を職員全体に伝達して周知を図った。
③　個別訓練でも嚥下訓練の一環として口腔ケアを中心に行い、できる機能の維持に努め、手指を使った訓練等を取り入れて行った。

給食（第二うちがた）

実施状況

利用者の声を聞き、毎日が楽しみになるような手作りで愛情のこもった食事作りを心がけている。

① 軟菜食の実施

介護・医務・給食の連携により、一人ひとりの栄養状態・身体状態・本人の食欲などを検討し、軟菜食を提供することができた。

② 療養食の実施

利用者の健康状態を把握し、その人に合った食事提供をすることに努めた。

□ 療養食の種類と人数（入所支援）

種類	糖尿食	脂質異常職	その他	合　計
人数	５名	２名	１名	８名

③ バイキング食

利用者の様々な嗜好を給食全員で把握し、全体メニューにできないどんな小さな要望であっても、その結果をできるだけ早く献立に取り入れるように対応した。

「実施日」：　毎週木曜日の昼食　　「実施回数」：　令和４年度　42 回

④ 選択食

２種類の献立の中から好きな料理を選んでいただき、食事に変化を持たせるとともに、選ぶ楽しみを作り出すように取り込んでいる。（主食・主菜のみ）

「実施日」：　毎週火曜日の昼食　　「実施回数」：　令和４年度　40 回

⑤ 麺　類

利用者から「麺類をもっと食べたい」という要望を聞いて取り組んでいる。

「実施日」：　毎週水曜日の昼食　　「実施回数」：　令和４年度　49 回

⑥ ひだまり工房の食事（昼食）

職員を通して、利用者の要望と嗜好の把握に努めている。さらにより良い食事の提供に心掛けている。

■ 実施日：月曜日～土曜日　　■ 料理：一汁三菜、　■ 麺類：毎週水曜日

■ 特別食・治療食：利用者の接種状況に合った食事提供（お粥食・代替食・治療食）

■ 行事食：旬の食材を提供

秋祭り：のっけ丼・レタス生ハムサラダ・ケーキ

クリスマス：お寿司・ローストビーフ・エビフライ・ケーキ

ひな祭り：鉄火丼・菜の花からし和え・ケーキ・味噌汁

⑦ 行事食

□ 令和４年度の行事食

月日	行事	主な料理
4/26	春の昼食会	馬肉の煮込み、エビフライ、ほたての照り焼き、うどの酢味噌、細竹豚肉炒め、豚肉アスパラ巻冷やしそば、タラの天ぷら、桜餅
7/7	七夕	七夕カレー、ケーキ
8/13～15	お盆	茶碗蒸し、じゅんさい、天ぷら、牛カルビ、昆布巻き、角煮、エビフライ、メロン、しじみ汁
9/10	十五夜	カツオたたき、茶碗蒸し、揚げだし豆腐
9/15	夕涼み会	焼き鳥、焼きそば、ほたて、エビ、おにぎり
11/1	お寿司の日	お寿司、茶碗蒸し、しじみ汁
12/22	クリスマス会	ピザ、お寿司、サラダ、牛ステーキ、ローストビーフ、刺身、グラタン、エビフライ、コーンスープ
12/28	もちつき	おしるこ、きなこ
12/31	大晦日	お寿司、人参の子和え、白子味噌汁
1/1～3	お正月	伊達巻、けの汁、昆布巻き、なます、すき焼き、栗きんとん、ローストビーフ、かまぼこ、ぶり照り焼き、いくら、焼豚、鉄火丼、煮しめ、茶碗蒸し、うなぎ
1/11	鏡開き	おしるこ、きなこ
3/3	ひな祭り	鉄火丼、菜の花からし和え、かき揚げ、そば、豚肉バーベキューソテー、ハマグリお吸い物

⑧　衛生管理

日　常	・衛生手袋、盛りつけ、検食の保存 ・冷凍庫、冷蔵庫の温度管理 ・給食施設内温度、湿度管理 ・加熱調理時の食品の中心温度管理 ・調理従事者の毎日の健康、衛生チェック ・食品ごとの、まな板、包丁、ボール等の用具の分別 ・洗浄・漂白 ・調理台、配膳台、シンク、床の掃除 ・取っ手の除菌
週　間	・調理機器、側溝、検収室、勝手口等の掃除 ・食器棚、食品庫の整頓
月　間	・冷凍庫、冷蔵庫の清掃 ・検便
年　間	・大掃除（2 回） ・サッシ、網戸の掃除 ・ねずみ、昆虫の駆除

しあわせセンターうるしかわ

福祉総合相談センター

実施状況

障がいのある方やその家族を含めた地域住民のみなさんに寄り添い、住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、地域に身近な「福祉よろず相談所」として総合相談支援を実施した。今年度は地域住民から来所にて障害福祉サービス等の制度に関する相談があり対応を行った。今年度も新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かないこともあり、関係機関と連携した地域づくり等の取組は実施できなかった。

相談支援事業（指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業・指定障害児相談支援事業）

1　実施状況

①　指定一般相談支援事業

地域生活支援事業における障害者相談支援事業を五所川原市、つがる市、中泊町より事業を受託して実施した。利用者や家族に対する福祉制度の説明やサービス利用に関する相談受け付け等、ニーズに応じて支援を行った。昨年度に引き続き、地域移行支援及び地域定着支援を進める保健所の会議には出席しているが、今年度も新規対象者はいなかった。

②　指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業

西北五管内の 2 市 4 町（五所川原市、つがる市、中泊町、鶴田町、鰺ヶ沢町、深浦町）のほか、管外市町の利用者に対して感染予防対策を十分にとりながら、相談支援専門員 3 名体制（1 名は兼務）でサービス等利用計画の新規作成や変更、Zoom 等を活用して定期的なモニタリングを実施した。また、今年度主任相談支援専門員研修を修了したことで、主任相談支援専門員が 1 名配置となっている。障害児相談支援においても計画作成依頼が増えており、可能な限り対応した。状況に応じて市の保健所との同行訪問や学校等と支援会議を実施し、支援を統一するための連携も図れた。令和 4 年度は 228 名（うち障害児は 27 名。年度内の終了件数を含む）の支援を行った。

③　その他

つがる市及び五所川原市より障害支援区分認定調査を受託して実施した。また、所属しているつがる西北五広域連合地域自立支援協議会相談支援部会にて、大雨による災害時の対応について事例発表を行った。その他の研修は、座学と Web 開催を状況に合わせて調整しながら参加し、質の向上に努めた。

2　利用状況

①　相談方法（サービス等計画作成に伴う相談を含む）

	訪　問	来　所	電話（メール含）	その他	合　計
五所川原市	222	10	274	17	523
つがる市	167	5	162	4	338
中泊町	76	1	112	16	205
鶴田町	34	0	8	1	43
鰺ヶ沢町	35	0	25	2	62
深浦町	11	0	3	1	15
その他	34	0	10	0	44
件　数	579	16	594	41	1,230

② 相談者区分別（サービス等計画作成に伴う相談を含む）

	本　人	家　族	関係機関	その他	合　計
五所川原市	248	199	67	8	523
つがる市	223	49	59	7	338
中泊町	101	35	60	9	205
鶴田町	27	13	2	1	43
鰺ヶ沢町	39	4	19	0	62
深浦町	12	0	3	0	15
その他	33	5	6	0	44
件　数	683	305	216	25	1,230

③ 相談内容別（サービス等計画作成に伴う相談も含む）

	障害福祉サービスの利用について	障害や病状の理解について	健康・医療について	その他	合　計
五所川原市	471	6	16	30	523
つがる市	314	3	7	14	338
中泊町	160	11	7	27	205
鶴田町	38	0	0	5	43
鰺ヶ沢町	54	2	1	5	62
深浦町	11	1	2	1	15
その他	41	1	1	1	44
件　数	1,089	24	34	83	1,230

④ サービス等計画作成件数（新規契約済み件数）

	五所川原市	つがる市	鶴田町	中泊町	その他	合　計
障がい者	5	7	2	0	0	14
障がい児	6	0	0	1	1	8

⑤ 障害者支援区分認定調査実施状況

		視覚障害	内部障害	脳性麻痺	脳血管疾患	頭部外傷	頸髄損傷	筋ジストロフィー	知的障害	精神障害	その他	合　計	
つがる市	男	0	2	1	4	2	2	2	0	0	4	17	24
	女	2	1	1	1	0	0	0	1	0	1	7	
五所川原市	男	3	0	2	3	0	3	0	2	2	2	17	28
	女	1	0	3	3	0	1	0	0	1	2	11	

地域交流室『うるしかわ「みんなのひろば」』

1　実施状況

地域の中で気軽に利用できる「みんなのひろば」として運営しているが、令和４年度新型コロナウイルス感染予防対策により、外部への貸し出しは自粛している。周知活動については、法人のホームページ記載のみとなっている。

2　利用状況

令和４度は法人内の会議への貸し出しは行ったが、外部への貸し出しは実施していないため、実績はない。

ケアホームうるしかわ

1　実施状況

①　ひだまり工房と連携して自己決定を尊重しながら、日常生活全般において安心・安全・快適に日々の生活を送れるよう支援。

②　第二うちがたのバックアップのもと利用者の健康管理や感染予防に努め、今年度も利用者への感染なく過ごすことができた。また、疾病時や定期受診時の通院の支援を実施。新たに、ろう者のための手話通訳士派遣依頼等のサポートも実施した。

③　洗濯・掃除等、日常生活における家事については、利用者個々の状態に合わせ、自分でできる事とできない事を見極めながら支援の見直しを行っている。

④　利用者が安心・安全に使用できるよう、補装具の故障や破損、また必要に応じて各補装具の交付に伴う交付申請や修理申請の代行なども実施。

⑤　感染予防を講じたうえで買物外出を実施した。

⑥　職員のスキルアップを図るため、Zoom での研修参加や感染症予防対策強化のためガウンテクニックについて web を活用して勉強会を実施した。

2　利用状況

①　年　齢

年齢／性別	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70 以上	合　計	平　均
男性	0	0	0	2	2	1	5	63.8
女性	0	0	0	3	1	1	5	62.2
合計	0	0	0	5	3	2	10	63.0

②　障害支援区分

区分／性別	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	平均
男性	0	1	0	3	1	4.8
女性	0	1	0	2	2	5.0
合計	0	2	0	5	3	4.9

③　利用実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	前年比
利用人数	270	279	270	287	279	279	310	300	310	310	280	310	3484	▲26
稼働率%	90.0	90.0	90.0	92.5	90.0	93.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	95.4	▲0.7

ひだまり工房

1　実施状況

①　喫茶店「ひだまり」では、かき氷・ドリップコーヒー・新作オリジナルアイス等、一人ひとりが参加して手作りの楽しさと美味しさを味わい喜ばれている。

②　買物やドライブ外出は感染予防のため中止とした。必要に応じて購入の機会を設け多少なりとも喜ばれていた。

③　野菜作りは苗を植えて水かけから草取り収穫までを活動として進め、収穫野菜はみんなで味わい楽しむことができた。

④　生産活動について、感染予防の流れで野菜提供農家との交流を昨年に続き中止し、乾燥作業を停止した。今後は感染状況を見極めて製品づくりに向けすすめていく。

2　利用状況

①　障害支援区分

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	訓練	合計
男性	0	1	3	0	4	3	1	12
女性	0	0	1	2	2	5	0	10
合計	0	1	4	2	6	8	1	22

③　年齢別状況

	20 歳未満	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65 歳以上	合計
男性	0	0	3	1	4	3	1	12
女性	0	0	0	2	6	1	1	10
合計	0	0	3	3	10	4	2	22

⑤　利用状況

	延べ利用者数			稼働日数	1 日平均 利用者数
	生活介護	自立訓練	合計		
4 月	297	12	309	26 日	11.9
5 月	302	11	313	25 日	12.5
6 月	322	13	335	26 日	12.9
7 月	306	13	319	26 日	12.2
8 月	264	12	276	26 日	10.6
9 月	325	13	338	26 日	13.0
10 月	330	13	343	26 日	13.1
11 月	345	13	358	26 日	13.7
12 月	328	13	341	26 日	13.1
1 月	294	12	306	24 日	12.7
2 月	318	12	330	24 日	13.7
3 月	367	13	380	27 日	14.0
合計	3,798	150	3,948	308 日	
月間平均	317	13	329	26 日	12.6

行事・外出・レクリエーション

①　第二うちがた

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	1日	町内会側溝掃除			3名
	9日	喫茶「もどき」・利用者懇談会	18名		8名
	19日	ドライブ外出	8名		4名
	19日	書道クラブ	20名		1名
	19日	すごろくゲーム	10名		1名
	21日	ドライブ外出	8名		4名
	21日	麻雀クラブ	4名		1名
	26日	お花見会（ゲーム・カラオケ）	28名		11名
5月	7日	書道クラブ	7名		1名
	7日	音楽クラブ	11名		1名
	10日	ドライブ外出	4名		4名
	12日	園芸クラブ	4名		2名
	17日	ドライブ外出	7名		5名
	19日	麻雀クラブ	4名		1名
	21日	紙芝居読み聞かせ	12名		4名
	24日	ドライブ外出	4名		4名
	31日	風船バレー	12名		4名
6月	2日	麻雀クラブ	4名		1名
	4日	ゲーム大会	12名		2名
	9日	喫茶「もどき」	14名		4名
	11日	書道クラブ	7名		1名
	14日	利用者の会主催「バーベキュー大会」	28名		8名
	16日	麻雀クラブ	4名		1名
	18日	カラオケクラブ	9名		2名
	21名	避難訓練	19名		4名
	28日	カラオケクラブ	9名		1名
	30日	お楽しみ食事会「出前の日」	18名		7名
7月	2日	ゲーム大会	4名		1名
	7日	麻雀クラブ	7名		1名
	9日	書道クラブ	5名		2名
	14日	麻雀クラブ	10名		2名
	16日	カラオケクラブ	11名		1名
	19日	花札の会	4名		1名
	23日	紙芝居読み聞かせ	4名		1名
	26日	お楽しみ食事会「出前の日」	18名		7名
	26日	カラオケクラブ	8名		1名
8月	2日	新型コロナウイルスワクチン接種　　在宅7名、ひだまり・KH8名	36名		7名
	4日	麻雀クラブ	4名		1名
	20日	紙芝居読み聞かせ	11名		1名
	23日	利用者の会主催「夏の果物食べようの日」	5名		1名
	27日	カラオケクラブ	6名		1名
9月	1日	麻雀クラブ	4名		2名
	3日	音楽クラブ	9名		1名
	6日	喫茶「もどき」	1名		1名
	8日	麻雀クラブ	4名		4名
	10日	書道クラブ	4名		1名
	15日	利用者の会主催「バーベキュー大会」&mini納涼祭、カラオケの会	24名		10名
	17日	カラオケの日	9名		2名
	20日	麻雀クラブ	4名		1名
	24日	紙芝居読み聞かせ	4名		4名
	27日	お楽しみ食事会「出前の日」	18名		8名
	29日	麻雀クラブ	4名		1名
10月	1日	カラオケの日	7名		2名
	4日	利用者懇談会・喫茶「もどき」	18名		7名
	6日	麻雀クラブ	4名		1名

	13 日	麻雀クラブ	4 名		1 名
	15 日	カラオケの日	5 名		1 名
	18 日	お楽しみ食事会「出前の日」	18 名		7 名
	20 日	麻雀クラブ	4 名		1 名
	22 日	紙芝居読み聞かせ	10 名		2 名
	25 日	「ハロウィン DE 仮装大賞」TO 喫茶「もどき」	18 名		4 名
	29 日	コンビニ外出	4 名		4 名
11 月	1 日	避難訓練	14 名		3 名
	3 日	買物外出	2 名	実習生1名	2 名
	5 日	コンビニ外出	4 名		4 名
	8 日	コンビニ外出	2 名	実習生1名	2 名
	10 日	麻雀クラブ	4 名		1 名
	12 日	書道クラブ	6 名		1 名
	17 日	麻雀クラブ	4 名		1 名
	19 日	カラオケクラブ	6 名		1 名
	22 日	利用者の会主催「焼き芋食べようの日」	20 名		5 名
	26 日	紙芝居読み聞かせの日	6 名		1 名
	29 日	すごろくゲーム	8 名		2 名
12 月	4 日	サンタ号見学（内潟療護園へ） 職員家族（児童）3 名	6 名		4 名
	8 日	麻雀クラブ	4 名		1 名
	15 日	麻雀クラブ	4 名		1 名
	22 日	クリスマス会	28 日		8 名
	24 日	紙芝居読み聞かせ	6 名		1 名
	28 日	餅を食べる会	10 名		8 名
1 月	4 日	麻雀クラブ	4 名		1 名
	7 日	書道クラブ（書初め大会）	13 名		2 名
	10 日	カラオケクラブ	6 名		1 名
	12 日	麻雀クラブ	4 名		1 名
	19 日	お楽しみ食事会「出前の日」	18 名		8 名
	19 日	新型コロナウイルスワクチン接種 在宅 5 名、ひだまり・KH13 名	27 名		16 名
	21 日	紙芝居読み聞かせ	5 名		1 名
	25 日	カラオケクラブ	5 名		1 名
	26 日	新型コロナウイルスワクチン接種 在宅 3 名、KH3 名	6 名		14 名
	29 日	喫茶「もどき」	15 名		4 名
	31 日	出張販売	18 名		6 名
2 月	2 日	麻雀クラブ	4 名		1 名
	3 日	豆まき会	19 名		3 名
	9 日	麻雀クラブ	4 名		1 名
	11 日	書道クラブ	12 名		1 名
	14 日	懇談会・喫茶「もどき」・カラオケクラブ	15 名		6 名
	16 日	麻雀クラブ	4 名		1 名
	18 日	カラオケクラブ	9 名		1 名
	21 日	お楽しみ食事会「出前の日」	18 名		8 名
	23 日	麻雀クラブ	4 名		1 名
	25 日	紙芝居読み聞かせ	9 名		1 名
	28 日	すごろくゲーム	9 名		2 名
3 月	2 日	お雛祭り	18 名		4 名
	2 日	麻雀クラブ	4 名		1 名
	7 日	花札の会	3 名		1 名
	9 日	麻雀クラブ	4 名		1 名
	11 名	書道クラブ	8 名		1 名
	14 日	「レンチンお菓子作り体験」TO 喫茶「もどき」	15 名		5 名
	18 日	花札の会	3 名		1 名
	21 日	カラオケクラブ	6 名		1 名
	23 日	お楽しみ食事会「出前の日」	16 名		1 名
	25 日	紙芝居読み聞かせ	9 名		1 名
	28 日	上映会	10 名		1 名
	30 日	麻雀クラブ	4 名		1 名

②　ひだまり工房

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
12 月	20 日	クリスマス会	14 名		9 名
2 月	2 日	節分	12 名		9 名

③　ケアホーム

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4 月	23 日	花見ドライブ外出	2 名		1 名
	24 日	花見ドライブ外出	1 名		1 名
	26 日	花見ドライブ外出	1 名		1 名
	27 日	花見ドライブ外出	1 名		1 名
	28 日	花見ドライブ外出	1 名		1 名
6 月	21 日	避難訓練	9 名		5 名
9 月	15 日	BBQ	8 名		5 名
11 月	1 日	避難訓練	10 名		4 名
12 月	23 日	クリスマス会	10 名		4 名
3 月	13 日	買物外出　しまむら	1 名		1 名
	14 日	買物外出　しまむら	1 名		1 名
	16 日	買物外出　ツタヤ	1 名		1 名
	20 日	買物外出　マエダ	1 名		1 名
	21 日	買物外出　ジャスコ	1 名		1 名
	22 日	買物外出　しまむら	1 名		1 名
	24 日	買物外出　しまむら	1 名		1 名
	28 日	買物外出　しまむら	1 名		1 名
	31 日	買物外出　エルム	1 名		1 名

内潟療護園相談センター　サービス区分

1　実施状況

令和４年度事業計画に基づき、支援を必要とする高齢者が安定して暮らすことができるよう、制度の枠にとらわれず、ニーズに応じた多面的な相談業務を実施した。週１回のミーティングにより情報共有。さらには 24 時間の電話対応により休日や夜間の電話相談にも対応した。

①　居宅介護支援・介護予防支援

一人ひとりのニーズに則した居宅介護サービス計画書を作成すると共に、サービス事業所や病院との連絡調整、担当者会議等を実施した。

②　要介護認定に係る訪問調査

中泊町や五所川原市、他市町村から要介護認定調査を受託し実施した。

③　研修参加

介護支援専門員としての資質向上を目指し、事業所内外の研修や勉強会に参加した。事業所内では勉強会のほかにケアマネそれぞれの担当ケースを使って事例検討会を実施した。今年度も新型コロナウイルス感染予防のため、昨年に引き続きオンラインでの研修を中心に参加した。

④　介護支援専門員実務研修受け入れ協力事業所への登録

介護支援専門員実務研修における「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習」に関する実習受入れ協力事業所として登録しており、令和４年度は１名の実習生を受け入れて指導した。

⑤　感染予防対策

法人から出される感染症対策確認事項に沿ってサービス提供を実施した。勤務前の検温や手洗い、うがいの徹底はもちろんのこと、訪問前後の手指消毒も実施した。

⑥　その他

住宅改修に係る意見書を作成した。ホームページ等で情報を発信することで、来所される家族・電話での相談、令和４年度も病院から直接に事業所への相談があった。その他、関係機関との連絡調整はもちろんのこと、緊急時の受診の付き添いや援助などもニーズに合わせて支援した。

2　事業実績

①　要介護度別利用者構成

	事業対象者	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計
男性	1	0	1	12	13	1	3	1	32
女性	9	1	6	19	10	5	2	1	53
合計	10	1	7	31	23	6	5	2	85

②　新規相談件数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
件数	5	2	14	6	2	2	2	2	4	2	4	4	49

③　介護認定調査委託件数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
件数	6	7	9	9	9	11	12	5	11	10	10	9	108

内潟療護園デイサービスセンター　サービス区分

1　実施状況

住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、入浴や食事、機能訓練、レクリエーション等のサービスを提供した。

① 機能訓練指導員による個別プログラムに沿った機能訓練を実施している。また、訓練室に滑車運動、ペダル漕ぎ運動、ハドマー（波形型エアマッサージ器）・訓練用階段を設置することにより、利用者が積極的に取り組んでいる。

② 食事を美味しく、楽しく、そして安全に食べてもらうことができるように、昼食前の口腔体操を継続して実施している。また、選択食を実施して利用者に喜んでもらえた。

③ コロナ禍における感染対策決定のもと、希望者を対象に花見や買物外出を実施して好評を得た。

④ 感染防止対策の実施として、送迎時にマスクや擦式手指消毒剤を活用し、外部からの感染防止を図った。事業所内では空気清浄機を設置し、でき得る対策を最大限実施して運営を継続した。

2　利用状況

① 介護保険被保険者　（延べ人数）

	介護保険被保険者								平均	計	稼働日数
	事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護度		
4月	61	28	82	181	161	26	77	5	1.7	626	26
5月	60	26	73	182	130	44	80	0	1.7	599	26
6月	72	33	92	172	135	45	95	0	1.8	648	26
7月	69	36	90	184	124	55	103	0	1.8	661	26
8月	58	29	64	159	95	52	81	0	4.8	538	23
9月	65	40	83	191	129	67	86	0	1.7	661	26
10月	65	50	92	192	135	49	99	0	1.7	682	26
11月	84	42	107	207	111	40	84	1	1.6	675	26
12月	60	34	89	191	104	32	67	0	1.6	577	24
1月	67	33	90	156	94	33	28	16	1.5	517	24
2月	74	37	99	191	119	36	46	16	1.6	618	24
3月	92	47	94	211	102	46	67	17	1.6	673	27
合計	827	435	1,052	2,217	1,439	525	913	55		7,475	304

② 障害者総合支援法による利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	9	9	8	9	8	9	9	8	9	7	8	9	102
機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	9	8	9	8	9	9	8	9	7	8	9	102

③　介護度・区分別登録者数

	～64		65～69		70～74		75～79		80～84		85～89		90～94		95～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
事業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	8	1	9	0	0	1	22
要支援１	0	0	1	0	1	0	1	0	3	1	1	2	1	0	0	0	8	3
要支援２	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	4	2	3	0	0	2	11
要介護１	0	0	1	0	4	0	0	2	1	3	2	4	4	2	0	0	12	11
要介護２	1	0	1	0	2	0	0	1	3	1	3	1	1	0	0	0	11	3
要介護３	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	4
要介護４	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	1	1	0	1	0	0	4	4
要介護５	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障がい	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	2	1	3	1	9	1	3	5	7	13	7	22	9	15	0	0	98	

内潟療護園ホームヘルプセンター　サービス区分

1　実施状況

①　季節ごとに感染症予防や健康・生活に関する注意喚起を行い、利用者の健康な生活維持に努めた。その他、生活に関わることは関係機関と連携・協力し、利用者一人ひとりの生活を豊かにすることができた。特に感染予防について徹底し、訪問前後に手指消毒、訪問毎にマスクを交換する等の対応をしながら訪問を実施した。コロナ感染症予防対策で訪問が中止になったこともあったが、感染者を出すことなくサービス提供を実施できた。

②　福祉ホーム入居者は高齢化・重度化が進み、身体機能の低下や認知機能の低下がみられてきた。低下している原因を分析し、支援内容を見直しながら本人らしく自立した生活ができるよう、法人内外の各サービス事業所や関係機関と連携をして支援を実施した。

③　在宅サービス利用者は個別性を重視。その人らしく生活ができるよう、職員一人ひとりがスキルアップするため研修を計画した。オンラインでの研修の参加や職員自らが講師となった職場内研修を実施して啓発に努めた。

④　職員が安全・安心して訪問が行えるよう定期的にミーティングを実施して業務内容を見直した。特にうちがた工房とは連携を密に取り合い、月１回ミーティングを開催して業務内容の見直しや提案・改善を行った。

⑤　中泊町推進会議へ参加。ヘルパーの日頃の業務や課題等を会議で発表し、町内や近隣市町村の訪問介護事業所と情報の共有ができた。

⑥　法人から出される新型コロナウイルス感染症対策に沿って業務を実施。また、利用者へ新型コロナウイルス感染予防対策の文書や県外からの来客があった場合の連絡等周知した。手洗いうがいの徹底はもちろん、訪問時はマスクを着用して終了時には消毒を実施。その他、不安な場合にはきりん館医務へ随時確認しながら業務を実施した。

2　利用状況

①　指定訪問介護事業（介護保険）　（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	16	10	7	10	13	19	17	16	4	4	5	7	128

②　訪問型独自サービス（介護保険）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	4	4	4	4	4	8	6	8	8	12	12	12	86

③　指定居宅介護事業（障害者総合支援）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	553	553	536	552	546	587	669	637	678	683	622	688	7,304

③　介護度・区分別登録者数

	障がい	事業	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計
男性	11	0	1	0	0	1	0	0	0	13
女性	1	0	0	3	1	0	0	0	0	5
合計	12	0	1	3	1	1	0	0	0	18

うちがた工房　サービス区分

1　実施状況

①　コロナ禍でイベント開催中止や外出制限がある中でも、感染予防対策をしっかり行ったうえで個別や少人数での外出を行った。一人ひとりのペースで買物をすることで、ストレス解消や心身のリフレッシュにつながる有意義な時間を提供することができた。

②　敷地内で野菜作りや花栽培を行い、水やりから収穫までを活動として進め、心身機能の活性化につなげることができた。また「農地の環境保全と明るい町づくり」としてのひまわり栽培・収穫・種取り作業等の生産活動を利用者と共に行った。

③　エコキャップ活動は、地域のボランティア活動に結びついてきている。地元の学校や地域の人からの協力を得て、ペットボトルキャップ約 440.9 ㎏、約 189,587 個を収集することができた。ペットボトルキャップ 1 ㎏をゴミとして焼却しなければ、CO2 を約 3 ㎏削減できる。（前年度約 182,500 個）

④　生産活動として、なたね・ひまわり油の生産販売を行っている。搾油作業は安全に注意を払い、一人ひとりに合わせた作業を実施。勤労意欲の向上や自立生活を目的とした支援プログラムの提供を進めた。

⑤　創作活動や生産活動の労をねぎらい、前庭で行ったバーベキューはとても好評であった。

2　利用状況

①　利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
生活介護	229	240	238	241	194	247	273	247	242	224	258	292	2,945	245.4
自立訓練	11	9	10	14	14	13	14	18	14	17	17	21	172	14.3
稼働日数	21	23	22	23	19	22	23	22	23	21	20	23	263	21.9
1 日平均	11.4	10.8	11.3	11.1	10.2	11.8	12.5	12.0	11.1	12.4	13.7	13.6	11.8	

②　障害支援区分

	区分なし	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
男性	0	0	7	7	3	2	0	19
女性	0	0	1	1	1	0	0	3
合計	0	0	8	8	4	2	0	22

令和 5 年 4 月現在

地域密着型特別養護老人ホーム　きりん館

特別養護老人ホーム　きりん館

1　実施状況

①　地域との関わり

新型コロナウイルス感染症流行拡大により、休校措置や学校行事自粛などで、こども園・小学校・中学校からの行事の案内や交流事業、奉仕活動等すべてが中止となった。

また、ボランティアの読み聞かせや唄も計画はしたものの、感染症予防対策として人が集まることを取りやめたことにより未実施となった。

②　感染予防対策

国の指導によるワクチン接種の実施を進め、利用者からインフルエンザやノロウイルスなどの感染症発症はなかった。

通年をとおして新型コロナウイルス感染予防対応に力を注ぎ、利用者、ご家族の協力により面会、行事等の制限を実施。昨年秋ごろから制限を緩和した形での面会を再開している。

③　余暇活動

新型コロナウイルス感染予防対策をとりながら、毎月のお食事会、カラオケ大会、昔懐かしき遊び、園芸活動など充実した活動を行うことができた。

2　利用状況

①　介護老人福祉施設入所者生活介護（定員 29 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ利用日数	870	899	870	899	890	861	872	857	899	899	808	898	10,522	876.8
入院日数	0	0	0	0	15	0	16	0	0	0	4	0	35	2.9
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働率（%）	100	100	100	100	100	99.0	99.0	97.0	98.5	100	100	99.9		99.3

②　年齢

年齢 / 性別	65～69	70～74	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計	平均
男性	1	0	2	5	0	0	0	8	83.5
女性	0	2	3	5	7	4	0	21	88.6
合計	1	2	5	10	7	4	0	29	87.3

③　要介護度

	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計
男性	0	0	1	5	2	8
女性	0	0	12	3	6	21
合計	0	0	13	8	8	29

④　退所区分

	死亡	入院	その他	合計
令和３年度	6	0	0	6
令和４年度	5	1	0	6

きりん館　短期入所

1　実施状況

①　介護保険法による特別養護老人ホーム併設型ユニット型短期入所事業を行い、専用居室６室を整備している。

②　中泊町、五所川原市在住の方々が、延べ 87 人、1,071 日の利用があった。

2　利用状況

①　短期入所生活介護、予防短期入所生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ利用日数	78	131	154	125	92	76	88	121	126	76	87	87	1,241	103
延べ利用者数	6	9	9	8	7	9	8	6	6	6	9	7	87	7.3
稼働率（%）	43.3	70.4	85.6	67.2	49.5	42.2	47.3	67.2	67.7	40.9	51.8	53.8		57.6

※　介護保険の場合、要介護認定の期間が６ヵ月から最長 36 ヵ月まで認められており、利用期間中に要介護度が変更となり、要介護度を２つ以上持っている方がおります。

きりん館　医務

1　実施状況

①　感染予防対策の実施・指導

②　結核検診の実施

③　職員の健康管理についてのアドバイス・指導

④　看取り介護の実施

2　評　価

①　日々の健康管理や適切な受診を実施することにより、長期の入院者を減少させることができた。

②　新型コロナウイルス感染症対策として予防マニュアルの作成、勉強会・会議等の開催、職員へは「持ち込まない」ための指導や管理を行った。

③　看取り介護への移行者は現在６名。今後も家族・医師・介護・給食と連携しながら穏やかな終末期を過ごせるよう支援した。

障害者福祉ホーム　きりん館

1　実施状況

今年度は入・退居が各 2 名あり、退居の 1 名在宅生活に戻り生活介護利用となった。ホームヘルプサービスやうちがた工房の生活介護・機能訓練サービスを利用して、利用者一人ひとりの自己決定による生活を保障し、地域で自立した生活を送れるよう支援した。

2.　利用状況

年齢 性別	30～39	40～49	50～59	60～69	70 以上	合計	平均
男性	0	0	3	7	0	10	61.9
女性	0	0	0	1	0	1	65.0
合計	0	0	3	8	0	11	62.2

3.　障害支援区分

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
男性	0	3	2	3	2	0	10
女性	0	0	1	0	0	0	1
合計	0	3	3	3	2	0	11

中泊町地域包括支援センター

中泊町地域包括支援センターは、高齢者などが住みなれた地域で安心してその人らしい生活ができるよう「医療・介護・介護予防・住まい・生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステムを推進し支援を行った。また、飛び地である小泊地域住民が相談しやすいように、小泊地域は中泊町地域包括支援センターこどまり支所を拠点にした。

当法人は中泊町から委託を受け、主任介護支援専門員、介護支援専門員、社会福祉士、看護師など８名のスタッフを派遣している。

1　実施状況

①　介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

65 歳以上の全ての高齢者に、年齢や心身の状況などに関わらず、要介護状態となっても生きがいや役割をもって生活ができる地域づくりを目指し必要な支援を行った。

■　住民運営の通いの場「いきいき百歳体操」の立ち上げ支援・継続支援

体操などを行う住民主体の通いの場の立ち上げ支援を１カ所行い、現在活動している９カ所の継続支援を行った。

②　包括的支援事業（総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント業務）

介護相談にととまらず様々な相談に応じ適切に保健・医療・福祉サービス機関や制度の利用につなげる支援を実施した。高齢者の虐待などの事例を把握した場合は町と連携し速やかに対応・支援を行えるようにしている。中泊町介護支援専門員連絡会（介護支援専門員を対象）を６回開催し、行政との連絡調整や事例検討会を開催した。

③　地域ケア会議の推進

地域の支援者を含めた多職種による専門的視点を交え、個別事例の分析を通じてその解決とともに地域に共通した課題を明確にし、必要な支援策や基盤整備につなげるために地域ケア会議をコロナ禍でウェブ対応等工夫しながら開催した。

④　指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

介護予防が必要な人（要支援 1・2・事業対象者）に対して、その人に合った介護予防計画を作成した。

⑤　認知症施策の推進

認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断や早期発見に向けた支援を行う認知症初期集中支援チームを設置しているが対応件数はなかった（認知症地域支援推進員は３名配置）。また、コロナ禍で認知症の理解者（認知症サポーター）を増やすための認知症サポーター養成講座開催の講師役やキャラバン・メイトを養成する研修会等は実施できなかった。

2　事業実績

①　相　談

■　相談件数（延べ）　　単位：件

来所	中里（31）　小泊（21）	52
電話	中里（1,156）小泊（43）	1,119
訪問		605
その他		163
合　計		1,939

■　相談者の区分（延べ）　　単位：件

本人	710
家族	561
親類	33
介護サービス事業所	158
行政機関	160
警察・消防署	44
社会福祉協議会	20
民間事業者	5
医療関係機関	169
民生児童委員	7
他関係機関	66
近隣・知人	14
その他	25
合　計	1,972

■　相談内容（延べ）　　単位：件

介護・日常に関する相談	343
サービス利用に関する相談	490
介護保険についての相談	521
医療に関する相談	243
所得・家庭生活に関する相談	108
権利擁護に関する相談	45
高齢者虐待に関する相談	16
障害サービスに関する相談	20
苦情相談	2
認知症に関する相談	12
その他	670
合計	2,470

②　包括的・継続的ケアマネジメント支援

■　中泊町介護支援専門員連絡会

第１回	令和４年度事業計画について
第２回	事例検討会：「原因不明のまま運動機能がどんどん低下してしまった彼女の支援」について
第３回	ケアマネジメント研修Ⅰ『'その'対象者の'ゆたかな生活・あじわい深い生活'のために～作業療法士が考える自立支援』 講師：国立大学法人弘前大学院　保健学研究科　博士　作業療法士　平川祐一氏
第４回	事例検討会「病気や物忘れはあるが、独居生活継続を希望される方の支援について」
第５回	ケアマネジメント研修Ⅱ『'その'対象者の'ゆたかな生活・あじわい深い生活'のために～作業療法士が考える自立支援』 講師：国立大学法人弘前大学院　保健学研究科　博士　作業療法士　平川祐一氏
第６回	行政連絡・認定調査について、懇談会・ヨガ

地域関係者主催の会議	11
地域密着型運営推進会議	2
民生・児童委員定例研修会	20
合　　計	33

③　地域ケア会議の充実

■　中泊町地域ケア会議の位置づけ

会議の名称	会議の機能				
	個別課題解決機能	ネットワーク構築機能	地域課題発見機能	地域づくり資源開発機能	政策提言機能
1　地域ケア個別会議	○	○			
2　地域ケア推進会議		○	○	○	
3　地域ケア運営会議		○	○	○	○

■　地域ケア個別会議（個別ケースの課題解決）

第１回	令和４年度地域ケア個別会議システム概要説明 テーマ「本人と家族が安心して生活するための支援方法について」
第２回	テーマ「緊急に介護サービスが必要だが、事前情報がない対象者を安心して受け入れる方法について」
第３回	テーマ「利用料未払いが続く孫の金銭管理について」
第４回	テーマ「本人が望む生活を続けていくための支援」

■　地域ケア推進会議（関係者で地域課題の共有・解決方法の検討、研修会の開催）

第１回	令和４年度地域ケア会議システム概要説明 『住み慣れたわがまちで暮らし続けられる中泊町』
第２回	８月の豪雨災害を振り返る～
第３回	防災すごろく「助け合ってご～！」：中泊町社会福祉協議会　事務局次長　下山功樹氏
第４回	「その人らしさ」を支えるデイサービス　～「その人らしさ」を考える報告会～
第５回	「その人らしさ」を支えるホームヘルパー　～自立支援を考える報告会～

■　地域ケア運営会議（町の課題と町への提案を整理・決定する）

	審議事項	決定事項
第１回	『住み慣れたわが町で暮らし続けられる中泊町』から見えてきた課題「移動支援について」	「移動支援」についての情報収集をする
第２回	(1) 認知症・身寄りがない (2) 情報共有する場が必要 「(仮) 中泊町事業所連絡協議会」	(1)『認知症になっても住み続けられる町づくり』を目指す復旧啓発に取り組む・「声がけ訓練」や認サポ養成講座を継続的に開催する (2) 立上げ準備を進めていく

④　指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント（要支援者・事業対象者に対して予防支援を行った）

■　ケアプラン数　　単位：件

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
介護予防支援	49	51	52	54	54	53	51	54	49	48	52	51	618
ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄA	91	91	86	86	92	89	99	97	95	98	93	95	1,112
ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄB	7	6	6	6	5	5	6	6	4	6	6	6	69
委託	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	6
合　計	148	148	145	147	152	148	157	157	148	152	151	152	1,805

※　ケアマネジメントＡ：指定介護予防支援と同様のケアマネジメント

※　ケアマネジメントＢ：利用者の状況などにあわせて簡略化したプロセスでのケアマネジメント

行事・外出・レクリエーション

① 特別養護老人ホーム　きりん館

新型コロナウイルス感染症対策として、少人数での活動を主に行った

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	5日	きりんカフェ（2号館）	9名		2名
	11日	紅白ゲーム：「目指せ100歳」リハビリ体操	10名		2名
	18日	カラオケ倶楽部	20名		4名
	27日	お手玉と玉入れ遊び	6名		2名
5月	3日	ビデオ鑑賞「おしん」	18名		2名
	4日	演歌歌手のビデオ鑑賞	10名		2名
	11日	きりんカフェ：スイーツづくり	24名		4名
6月	3日	ビデオ鑑賞「おしん」	20名		2名
	8日	きりんガーデン：花壇づくり	4名		2名
7月	2日	おやつ買物外出	2名		2名
	13日	きりん館お祭り広場	26名		10名
9月	2日	おやつ買物外出	2名		2名
	10日	がんばろう！薄市・下高根（ねぶた運行等）	2名		2名
	13日	きりん館宵宮際	31名		10名
	19日	敬老会	32名		10名
10月	12日	出張販売	20名		6名
	26日	芋煮会	29名		10名
11月	5･6日	令和4年度なかどまり町民文化祭	5名		3名
	12日	お達者デー	15名		5名
	26日	ハロウィン	31名		8名
12月	23日	クリスマス会	33名		15名
1月	10日	新春カルタ大会	20名		5名
2月	3日	節分豆まき	33名		9名
	21日	花札会	6名		2名
3月	3日	ひな祭り	30名		8名

② 地域福祉センター　デイサービス

月	日	行事・外出・レク	利用者	職員
4月	19日	花見外出	3名	2名
	20日	花見外出	10名	2名
	21日	花見外出	8名	2名
	22日	花見外出	6名	3名
5月	24日	芝桜観桜外出	3名	2名
	25日	芝桜観桜外出	11名	3名
	26日	芝桜観桜外出	6名	2名
	27日	芝桜観桜外出	3名	2名
6月	14日	焼き芋会	25名	8名
	15日	焼き芋会	25名	7名
	16日	焼き芋会	27名	7名
	17日	焼き芋会	24名	7名
	21日	ラベンダー外出	10名	3名
	22日	ラベンダー外出	10名	2名
	23日	ラベンダー外出	6名	2名
	24日	ラベンダー外出	9名	3名
9月	13日	買物外出　金木スーパーストア	3名	1名
	14日	買物外出　金木スーパーストア	7名	2名
	15日	買物外出　金木スーパーストア	7名	2名
	16日	買物外出　金木スーパーストア	4名	1名
10月	11日	焼き芋会	29名	8名
	12日	焼き芋会	30名	7名
	13日	焼き芋会	26名	7名
	14日	焼き芋会	25名	6名
	17日	焼き芋会	29名	6名
1月	10日	新年会	24名	8名

	11 日	新年会	25 名	8 名
	12 日	新年会	22 名	8 名
	13 日	新年会	24 名	8 名
3 月	1 日	繭玉づくり	30 名	9 名
	14 日	買物外出　金木スーパーストア	7 名	3 名
	15 日	買物外出　金木スーパーストア	8 名	2 名
	16 日	買物外出　金木スーパーストア	8 名	2 名
	17 日	買物外出　金木スーパーストア	4 名	1 名

③　地域福祉センター　うちがた工房

月	日	行事・外出・レク	利用者	職員
4 月	9 日	買物外出	10 名	4 名
	24 日	食事、花見外出	3 名	5 名
5 月	21 日	炒飯、唐揚げづくり	7 名	5 名
7 月	30 日	食事外出（小泊　かもめ寿司）	8 名	6 名
8 月	9 日	買物外出	3 名	2 名
10 月	1 日	バーベキュー（収穫お疲れさま会）	11 名	6 名
10 月	22 日	クレープ作り	7 名	2 名
11 月	1 日	個別買物外出	3 名	2 名
12 月	7 日	買物外出、忘年会	10 名	5 名
1 月	14 日	お好み焼きづくり	10 名	5 名
1 月	28 日	新年会　肉鍋	14 名	6 名
3 月	15 日	薄市小学校卒業生と交流	2 名	1 名

職員研修

1　内潟療護園

①　派遣研修

月	日	研修名	参加者	開催場所
5月	20日	令和４年度経営協社会福祉法人理事長・役員研修会	理事長	青森市
6月	4日	青森中央短期大学公開講座「災害と食」	佐野	オンライン
7月	8日	令和４年度社会福祉援助技術Ⅱ（グループワークの基本と実践）	齋藤	青森市
	21日	安全衛生推進者養成講習会	葛西	五所川原市
	29日	日本栄養士会主催 2022 年度福祉スキルアップ研修～栄養ケアマネジメントを最初から学ぶ～高齢編	佐野	オンライン
8月	4日	安全運転管理者講習	事務局長、木村	金木公民館
	10日	第 41 回全国社会福祉法人経営者大会	理事長、事務局長	青森市
	23日	令和４年度社会福祉援助技術Ⅰ（ケースワークの基本と実践）	佐々木	青森市
9月	1日	令和４年度社会福祉施設中堅・指導的職員研修	藤田	青森市
	2日	第１回生涯現役実現セミナー	髙橋	中泊町
	10日	青森県高次脳機能障害リハビリテーション講習会	山谷	青森市
	21日	相談支援従事者初任者研修	長谷川	青森市
10月	17日	東北ブロック身障協職種別研修会	工藤	オンライン
	20日	東北ブロック身障協職種別研修会	長内	オンデマンド
	27日	令和４年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修　中堅職員コース	秋田	オンライン
11月	16日	日本栄養士会主催 2022 年度福祉スキルアップ研修～栄養ケアマネジメントを最初から学ぶ～障害編	佐野	オンライン
		日本栄養士会主催 2022 年度「各加算の取り方」研修会	佐野	オンデマンド
	22日	社会福祉法人会計実務講座：中級	髙橋	神奈川県
12月	26日	都道府県経営協セミナー（後期）	理事長・事務局長	青森市
1月	23日	東北ブロック身障協職種別（専門）研修会	佐野	オンライン
	30日	介護現場における生産性向上推進フォーラム	白川	オンライン
2月	10日	介護施設・事業所における BCP 業務継続計画セミナー：感染症編	荒関	オンライン
	16日	介護施設・事業所における BCP 業務継続計画セミナー：自然災害編	葛西	オンライン
	22日	青森介護ロボット・ICT 導入支援セミナー	事務局長	オンライン
3月	2日	令和４年度給食施設栄養管理指導事業研修会	細川	オンライン
	28日	障害福祉事業経営セミナー	理事長	オンライン
	30日	高齢者福祉事業経営セミナー	理事長	オンライン

②　職場内研修

月	研修名及び研修内容	講師	参加数
4月	令和４年度研修計画のためのアンケート実施		
5月	身体拘束について：不適切なケア、当施設での身体拘束該当者について	身体拘束委員会	5名
6月	排泄介助について：排泄ケアの基本	ユニ・チャーム㈱	3名
7月	救急法：実践　AED を用いた心肺蘇生法 防犯研修：不審者への対応	木村主任 中里駐在所員	6名 35名
8月	認知症ケアについて	今課長	6名
9月	虐待防止について：高齢者虐待について考える	青森県社会福祉士会　村岡真由美氏	2名
10月	食事介助について：摂食・嚥下について 虐待防止について：虐待防止体制構築のために職員に求められる適切な支援等	其田ST ㈱士楽舎　大場匡人氏	5名 6名
11月	救急法：AED を用いた心肺蘇生法	営繕　葛西	11名
12月	障害（精神・知的・発達障害）と障害の特性を理解する 救急法：AED を用いた心肺蘇生法	権利擁護あおい森ネット　藤森健吾氏 営繕　葛西	20名 3名

1月	救急法：AED を用いた心肺蘇生法	営繕　葛西	9名
2月	身体拘束について：身体拘束等の適正化について 救急法：AED を用いた心肺蘇生法	DVD 営繕　葛西	5名 4名
3月	救急法：AED を用いた心肺蘇生法 まとめ	営繕　葛西	4名

※虐待・身体拘束・認知症ケア・感染症防止・防犯研修については毎年実施する
※身体拘束については年２回確実に行う。１回目は新年度３カ月以内に必ず行う
※認知症ケアについての実施月は未定。そのため他の実施月に変動あり

③　人権擁護委員会・言葉遣いの勉強会

月日	内　容	参加人数
5/19	「丁寧な言葉遣い」～介護拒否の場面～	12名
6/23	「丁寧な言葉遣い」～移乗介助場面～	12名
7/21	「丁寧な言葉遣い」～入浴介助場面～	7名
8/25	「やってはいけない声がけ」	7名
9/27	「丁寧な言葉遣い」～排泄介助場面～	7名
10/27	「介護のシチュエーション別！役立つ言葉遣い」	8名
1/26	「接遇マナーについて」	8名
2/16	「利用者・家族・スタッフに信頼される言い換え術」	8名
3/23	「断り」の言い換え術	8名

2　第二うちがた・五所川原地域拠点

①　派遣研修（第二うちがた・五所川原地域）

月	日	研修名	参加者	開催場所
5月	21日	業務に活きる多職種連携研修	佐藤	オンライン
6月	27日	令和４年度　介護支援専門員更新研修（実務未経験者向け）　～7/27	齋藤	オンライン
7月	16日	防災士養成研修	伊南	青森市
8月	22日	青森県子どもの発達支援ガイドブック活用研修会	浅木	オンライン
	24日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修　管理職員コース　～25日	小笠原	オンライン
	25日	令和４年度　障害支援区分認定調査員研修	三浦	青森市
	31日	令和４年度　青森県演習講師研修（アセスメント）	佐藤	オンライン
10月	3日	第44回東北ブロック身体障害者施設職員研修会	佐々木、渡辺、細川	オンライン
	6日	令和４年度　社会福祉法人経営塾　前期　～7日	成田園長	オンライン
	13日	令和４年度　青森県演習講師研修（ファシリテーション）	佐藤	オンライン
	27日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修　中堅職員コース	西村、浅木	青森市
	31日	福祉事業者のためのコーチング講座	成田園長	オンライン
12月	5日	令和４年度　社会福祉法人経営塾　後期　～6日	成田園長	東京都
1月	27日	全社協　令和４年度障害者虐待防止マネージャー研修会　～28日	中村　ほか10名	オンライン
	30日	令和４年度　東北ブロック相談支援従事者主任研修　～31日　2/9・10	佐藤	青森市
2月	16日	令和４年度　青森県専門コース別研修	浅木	青森市
	27日	令和４年度　青森県精神障害者地域移行研修会	佐藤	オンライン
3月	7日	全社協　第35回　経営セミナー	成田園長、佐藤、三浦、中村	オンライン
	10日	令和４年度　指定障害福祉サービス事業者集団指導　～31日	成田園長、佐藤、三浦、中村	オンライン

②　職場内研修（第二うちがた）

月	研修名及び研修内容	講師名	参加数
4月	社会福祉法人内潟療護園の理念	野上理事長	12名
6月	脱水症予防について	勝浦良子	20名
8月	新任者研修	成田園長	2名

	感染症の対応について	勝浦良子	12名
10月	虐待防止について	青森県社会福祉士会　大場様	15名
12月	接遇についてⅠ	三浦主任	8名
1月	接遇についてⅡ	佐藤	7名
	接遇についてⅢ	中村主任	8名
2月	虐待防止について	中村主任	22名
	接遇についてⅣ	澤田裕生	10名

③　職場内研修（しあわせセンター）　※は第二うちがたで開催されたものに参加

月	研修名及び研修内容	講師名	参加数
5月	業務に活きる多職種連携（伝達研修）	佐藤	1名
5月	法人の理念を理解する※	理事長	1名
9月	青森県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会（WEB配信）	佐藤	2名
10月	虐待防止について（オンライン研修）※	青森県社会福祉士会　大場匡人氏	2名
11月	大人のアンガーマネジメント入門（オンライン研修）	青森病院　大平香織氏	2名

③　内部研修（ケアホーム）

月	研修名及び研修内容	参加者
4月	新任者研修	1名
10月	障害者虐待について	4名
10月	ガウンテクニック	全職員
2月	簡易リフター	全職員

※　ほか、第二うちがた実施研修会に参加

④　内部研修（ひだまり工房）

月	研修名及び研修内容	参加者
4月	ボディメカニクス	1名
5月	法人理念	2名
7月	喀痰吸引	1名
10月	虐待防止	1名
2月	虐待防止	1名

3　きりん館・地域福祉センター

新型コロナウイルス感染症対策として派遣研修を自粛し、主にオンラインでの研修に参加した。

①　派遣研修及びオンライン研修

月	日	研修名	参加者	開催場所
4月	5日	令和4年度介護支援専門員専門課程研修Ⅰ　～27日	鎌田	オンライン
5月	19日	介護支援専門員の倫理	成田・佐藤・鎌田	中泊町
	26日	地域ケア推進会議（五所川原市）	小山内	オンライン
	28日	私たちは介護のプロフェッショナル～介護福祉士の倫理綱領～	小山内	オンライン
6月	9日	地域ケア推進会議「住み慣れた我が町に住み続けられるように」	木村、加藤	中泊町役場
	18日	介護従事者のための糖尿病の基礎知識	鎌田	オンライン
7月	12日	自分も相手も大切にするアサーティブコミュニケーション	佐藤	オンライン
	16・24日	防災士養成講座	中村	青森市
	30日	青森県立病院令和4年度第1回介護従事者研修会：自分で噛んで飲み込むための介護～食べたい物を食べる	保坂・渡瀬・工藤・田中	オンライン
8月	4日	令和4年度青森県認知症介護実践研修（実践者研修）	小山内	オンライン
	22日	令和4年度相談支援従事者初任者研修	北畠	オンライン
	29日	令和4年度施設ケアマネ研修会	對馬	オンライン
9月	14日	第2回地域ケア推進会議	小山内	中泊町役場
	12日	エッセンシャルワーカーのココロとカラダが楽になるストレスマネジメント	大川	オンライン
	20日	作業療法士が考える自立支援	成田・佐藤・鎌田	中泊町

	28・29日	令和４年度青森県認知症介護実践研修（前期）	加藤	オンライン
	29日	介護従事者向け研修　高齢者虐待について考える	成田・佐藤・鎌田	オンライン
	30日	リーダー層のための人事・労務管理セミナー	對馬	オンライン
10月	12日	令和４年度サービス管理責任者基礎研修	北畠	オンライン
	13日	令和４年度青森県認知症介護実践研修（後期）～14日	加藤	所属施設
	22日	認知症はみんな同じじゃない	鎌田・工藤・小林・尾野	オンライン
11月	1日	こどもの居場所ネットワークミーティング	佐藤	オンライン
	4日	介護リーダー育成研修	浜田	オンライン
	5日	病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修	海江田	オンライン
	5日	介護施設におけるハラスメント研修会	渋谷	青森市
	9日	第３回地域ケア推進会議	小山内	オンライン
	11日	傾聴講座	北畠	オンライン
	12日	令和４年度サービス管理責任者基礎研修	北畠	青森市
	13日	本人の意向を尊重した意思決定のための研修会	成田	オンライン
	25日	メンター育成研修	佐藤・下山	藤崎町
12月	10日	介護施設で働く看護師の病院研修（西北五地区）	小山	五所川原市
	13日	床ずれ対策 WEB セミナー（床ずれ予防用具の上手な選定・活用方法）～14日	下山・小山	オンライン
	17日	トイレ介助の良い例・悪い例	鎌田・葛西	オンライン
	20日	何がどう変わる？ケアプランデータ連携システム概要	成田・佐藤	オンライン
	22日	高齢者のフレイル予防推進事業：支援者のための栄養・健康講座	工藤	オンライン
1月	18日	第４回地域ケア推進会議	小山内・海江田	中泊町役場
	23日	第５回中泊町介護支援専門員連絡会：その対象者のゆたかな生活・あじわい深い生活のために	對馬・渋谷・保坂・秋元・下山	オンライン
	24日	ケアプランデータ連携システム説明会	小山内	オンライン
2月	16日	主任介護支援専門員の役割と課題	成田	オンライン
	17日	高齢者虐待を未然に防ぐ研修会	三上館長	
	18日	寝たきりにさせない介護	鎌田・白川・田中	オンライン
	22日	リーダー層のための人事・労務セミナー	山谷	オンライン
	23日	介護職のためのストレスコントロール	下山・米塚	オンライン
3月	9日	青森県介護福祉士会津軽支部研修：住み慣れた環境x介護	中村・下山・小山内	オンライン
	14日	褥瘡対策 WEB セミナー：皮膚の健康が褥瘡を防ぐ！～お尻のスキンケア～	田中・小山・田中・今白川	オンライン
	14日	褥瘡対策 WEB セミナー：良い姿勢が褥瘡を防ぐ！～ベッド上のポジショニングを中心に～	田中・小山・保坂	オンライン
	21日	新型コロナ感染症対策看護マネジメント研修	秋元	オンライン

②　職場内研修

月	研修名及び研修内容	講師名	参加数
４月	新任者研修	理事長ほか	１名
６月	介護施設で起こり得る誤嚥事故	三上館長	15名
８月	高齢者虐待について考える	對馬	10名
９月	災害時できること：８月の豪雨災害を振り返って	三上館長	13名
10月	感染予防について	看護師	10名
12月	高齢者施設における感染対策	看護師	17名
１月	グループワーク：環境・整容・おむつの当て方・ケース記録・休憩時間	對馬	９名
２月	介護施設従事者等による高齢者虐待の考え方	三上館長	12名
３月	認知症ケアの専門性を理解する	お茶の水ケアサービス学院	18名

③　内部研修：ヘルパー

月	研修名及び研修内容	講師名	月	研修名及び研修内容	講師名
４月	法人の理念・事業計画	理事長	10 月	利用者の緊急時の対応	下山
５月	介護福祉士の倫理	包括　工藤主任	11 月	訪問時の感染予防対策	オンライン
６月	食中毒予防	工藤栄養士	12 月	個人情報保護・プライバシーの保護	成田主任
７月	熱中症・脱水症	大川	１月	事業点検・自己評価	管理者
８月	認知症の方への対応方法	オンライン	２月	接遇	弘前短大戸来教授
９月	高齢者・障害者虐待防止（オンライン）	県社協　村岡氏	３月	令和４年度の評価	管理者

④　内部研修：相談センター

月	研修名及び研修内容	講師
5月	介護福祉士の倫理	中泊町地域包括支援センター
	感染症予防：手指衛生・マスクの着用	成田
10月	事例検討会：担当利用者のケアプラン、ケアの方向性について	発表者：鎌田
11月	事例検討会：担当利用者のケアプラン、ケアの方向性について	発表者：佐藤
12月	ケアプランデータ連携システムについて：何がどう変わる？ケアプランデータ連携システム概要	成田
	事例検討会：担当利用者のケアプラン、ケアの方向性について	発表者：成田
	個人保護情報・プライバシーについて	成田
2月	接遇について	弘前医療福祉大学短期大学部 介護福祉学科教授　戸来睦雄氏

⑤　他法人との共同研修・事例検討会：相談センター

開催日	研修名	研修内容
7月15日	事業所紹介・情報交換	鶴田町、中泊町の紹介、事業所紹介
12月14日	事例検討会	コロナウイルス感染拡大により書面での事例検討会：利用者の対応方法、地域課題を書面で報告し合う
3月17日	事例検討会 情報交換・年度の振り返り	・事例検討会：サービス料金の支払いが滞っている方への支援 ・情報交換：BCP、データ連携について ・今年度の振り返り、来年度の開催について

４　中泊町地域包括支援センター

①　外部研修

月	日	研修名	参加者	開催場所
6月	27日	介護支援専門員再研修（～の58時間）	三上	オンライン
7月	15日	多職種連携ミーティング	松橋	オンライン
	29日	地域包括・在宅介護支援センター　リーダー職員研修	工藤	オンライン
8月	5日	適切なマネジメント商法実践研修	木村	オンライン
	25日	令和４年度　高齢者虐待支援セミナー	佐々木	オンライン
9月	3日	令和４年度　適切なケアマネジメント手法実践研修	松橋	オンライン
	7日	令和４年度　多職種連携強化研修会	工藤	オンライン
	13日	令和４年度　認知症地域支援推進員研修（新任研修）	松橋	オンライン
10月	1日	令和４年度　認知症初期集中支援チーム研修	三上	オンライン
	19日	令和４年度　認知症キャラバンメイト養成研修	熊木	青森市
	21日	令和４年度　つどいの場充実支援のための情報交換会	三上・熊木	オンライン
	22日	令和４年度　介護従事者研修　～認知症の人を理解し、対応力を高めよう～	熊木・松橋・佐々木	オンライン
	27日	虐待防止について	熊木	オンライン
11月	2日	令和４年度　多職種連携強化研修会	佐々木	オンライン
	2日	令和４年度　主任介護支援専門員研修（～の70時間）	工藤	オンライン

	5日	令和４年度　認知症初期集中支援チーム員研修	木村	オンライン
	7日	全国経営協令和４年度社会福祉法人マネジメント研修	工藤	オンライン
	10日	令和４年度　認知症キャラバンメイト養成研修	三上・佐々木	弘前市
	16日	令和４年度　在宅・現職員保健師保健所ブロック別研修会	熊木	オンライン
	18日	令和４年度　高齢者権利擁護研修会	松橋・木村・佐々木・佐藤	オンライン
	29日	令和４年度　高齢者権利擁護意思決定支援研修	三上・松橋・木村・佐々木・佐藤	オンライン
12月	8日	認知症キャラバン・メイトフォローアップ研修	松橋・工藤	オンライン
	12日	主任介護支援専門員スキルアップ研修	松橋・工藤	オンライン
	21日	社会福祉法人による「青森県型地域共生社会」西北モデル強化事業合同研修会～コミュニティナース活動について	熊木・佐々木	オンライン
1月	16日	令和４年度　チームオレンジ・コーディネーター研修会	熊木・松橋	オンライン
	18日	令和４年度構成「地域づくり加速化事業」ブロック別研修会「総合事業の連動性・関係者の連携に向けて」	松橋	オンライン
	30日	認知症の人の活躍推進事業に関する研修会	松橋	オンライン
2月	13日	介護支援専門員重点課題解決研修	木村	オンライン
	13日	総合的権利擁護支援研修会～老いじたく～誰のために考えますか～	熊木・松橋・工藤	オンライン
	20日	総合的権利擁護支援研修会～睡眠（休眠）口座と相談～	三上・松橋・工藤・木村	オンライン
	21日	令和４年度権利擁護・成年後見制度セミナー	佐々木	オンライン
	22日	司法と福祉の連携について	熊木・工藤	オンライン
	27日	総合的権利擁護支援研修会～成年後見人の役割～	熊木・松橋・工藤	オンライン
3月	9日	介護事業者のための業務継続計画作成セミナー	三上・松橋	オンライン
	23日	令和４年度老人保健健康増進等事業「認知症の本人とともに、暮らしやすい地域をつくろう」	熊木	オンライン

②　町内研修

月	日	研修名	参加者	開催場所
5月	21日	令和４年度　青森県自主防災体験研修会	三上・工藤・佐々木	中泊町役場
9月	29日	高齢者虐待防止研修「高齢者虐待防止について考える」	三上・木村	
11月	12日	「足湯」ボランティア研修会	松橋・工藤・木村	中里中央公民館
12月	21日	地域貢献活動合同研修会「コミュニティナース活動研修会」（オンライン）	熊木・工藤	中泊町役場

ボランティア

1　実施状況

毎年、行事や環境整備、理美容、繕い物、読み聞かせなど、利用者の生活に関わることについて、各ボランティアの方々から協力を得ていたが、本年度は新型コロナウイルス感染予防のためボランティアの受け入れを自粛した。その中でデイサービス部門において、中泊町に拠点を置くボランティア団体「めんだりカッチャの会」からは支援活動を継続させていただいた。今年度の施設内活動のボランティアは延べ 1,188 名となっている。

2　受入状況

①　内潟療護園

令和４年度：新型コロナウイルス感染対策のため受入れなし

②　第二うちがた

令和４年度：11 月 11 日三上二郎様１名（個人）　駐車場花壇の雪囲い支援

③　地域福祉センター　デイサービス

月	活動内容	人数	個人または団体名
４月	食事準備、後片付け、理容など	101	めんだりカッチャの会、成田久雄様
５月	食事準備、後片付け、理容など	102	めんだりカッチャの会、成田久雄様
６月	食事準備、後片付け、理容など	100	めんだりカッチャの会、成田久雄様
７月	食事準備、後片付け、理容など	108	めんだりカッチャの会、成田久雄様
８月	食事準備、後片付け、理容など	95	めんだりカッチャの会、成田久雄様
９月	食事準備、後片付け、理容など	100	めんだりカッチャの会、成田久雄様
10 月	食事準備、後片付け、理容など	104	めんだりカッチャの会、成田久雄様
11 月	食事準備、後片付け、理容など	102	めんだりカッチャの会、成田久雄様
12 月	食事準備、後片付け、理容など	86	めんだりカッチャの会、成田久雄様
１月	食事準備、後片付け、理容など	91	めんだりカッチャの会、成田久雄様
２月	食事準備、後片付け、理容など	91	めんだりカッチャの会、成田久雄様
３月	食事準備、後片付け、理容など	107	めんだりカッチャの会、成田久雄様

③　きりん館

令和４年度：新型コロナウイルス感染症対策のため受入れなし

福祉教育

1　実施状況

令和４年度実施状況は次のとおり

○　福祉の仕事あれこれ出前講座（青森県社協主催）

日　時	学校名	学　年	受講人数	講義内容	講　師
６月 14 日	小泊小学校	４年生	12 名	福祉の仕事について	事務局長、長谷川主任
９月 28 日	中里小学校	４年生	23 名	福祉の仕事について	事務局長、長谷川主任

防災対策と避難訓練

内潟療護園

1　実施状況

新型コロナウイルス感染予防のため消防署員の立会いなしでの総合避難訓練を実施。

2　訓練状況

①　避難訓練（火災想定）

実施年月日	訓練項目	訓練内容	施設長より	防火管理者からの注意事項	参加人員	
					利用者	職員
令和４年 7月7日 自主訓練	避難訓練 通報訓練 消火訓練 放水訓練	・館内放送で火災が発生したことを連絡し、避難誘導を開始する ・通報専用電話機使用（逆信への返答） ・消火器の取扱説明及び初期消火訓練 ・屋内消火栓の取扱説明及び放水訓練	火災や自然災害から身を守ることが大切です。これからも色々な場面を想定した訓練を続けてください。 避難所要時間 （11分15秒）	消火器の噴射ノズルを直接火元に向けること。掃くように噴射すると周りが見えなくなる可能性があります。	20名	23名
令和４年 11月16日 自主訓練	避難訓練 通報訓練 消火訓練 放水訓練	・館内放送で火災が発生したことを連絡し、避難誘導を開始する。 ・通報専用電話機使用（逆信への返答） ・消火器の取扱説明及び初期消火訓練 ・屋内消火栓の取扱説明及び放水訓練	いつでも災害は起こり得る。日中に職員はたくさんいるが夜間は 3 人しかいない。夜間を想定した訓練は重要です。 避難所要時間 （4分47秒） ※天候不良により避難場所を玄関ホールに変更	車椅子での避難時に、利用者の足が足台にしっかりと乗せられているか注意してください。	22名	21名

②　防災研修

実施月	訓練項目	訓練内容	開催場所	参加人数
7月7日	救急法（福祉課）	心肺蘇生法・AED使用方法	施設内	6名
11月23日	救急法（福祉課）	心肺蘇生法・AED使用方法	施設内	8名
11月24日	救急法（福祉課）	心肺蘇生法・AED使用方法	施設内	4名
12月29日	救急法（福祉課）	心肺蘇生法・AED使用方法	施設内	3名
1月17日	救急法（福祉課）	心肺蘇生法・AED使用方法	施設内	2名
1月24日	救急法（福祉課）	心肺蘇生法・AED使用方法	施設内	3名
1月31日	救急法（福祉課）	心肺蘇生法・AED使用方法	施設内	4名
2月7日	救急法（福祉課）	心肺蘇生法・AED使用方法	施設内	2名
2月14日	救急法（福祉課）	心肺蘇生法・AED使用方法	施設内	2名
2月28日	救急法（福祉課）	心肺蘇生法・AED使用方法	施設内	2名
3月21日	救急法（福祉課）	心肺蘇生法・AED使用方法	施設内	2名
3月31日	救急法（福祉課）	心肺蘇生法・AED使用方法	施設内	2名

③　啓発活動

自然災害BCPの内容を全職員に意識してもらうため週替わりで豆知識やクイズ形式のポップを作成しホワイトボードに掲示

第二うちがた

1　実施状況

感染予防を図るため、五所川原消防署立会いなく訓練を実施する。消防用設備点検業者の協力を得て火災を想定した訓練を２回、水害を想定した訓練を１回行う。

2　訓練状況

①　総合避難訓練

実施年月日	訓練項目	訓練内容	消防署からの指示・評価	防火管理者からの注意事項	参加人員	
					利用者	職員
令和４年 6月21日	避難訓練 通報訓練 消火訓練 放水訓練	・園内放送等で火災発生を連絡し、避難誘導を開始する。 ・園内放送と消防署への通報は正確にわかりやすく行う ・消火器取扱説明と消火訓練 ・消火用散水栓の放水訓練	消防署の立会いなし 避難所要時間 （5分21秒）	今日の避難訓練ではすべての報告が完了し、皆さんの無事訓練終了する	18名	19名
令和４年 7月7日	避難訓練 通報訓練	・大雨による水害を想定して避難準備を始める ・水害を想定して避難所へ避難を開始する	消防署立会いなし	施設からコミュニティーセンター長橋への避難所要時間（11分40秒）		４名
令和４年 11月1日	避難訓練 通報訓練 消火訓練 放水訓練	・園内放送等で火災発生を連絡し、避難誘導を開始する。 ・園内放送と消防署への通報は正確にわかりやすく行う ・消火器取扱説明と消火訓練 ・消火用散水栓の放水訓練	消防署立会いなし 避難所要時間 （7分21秒）	職員の指示に従って落ち着いて避難できました。雨天のため施設ホールへ避難誘導する。	12名	12名

②　防災研修等

■　令和４年８月９日、松野木川の水位が氾濫危険水位に達し、高齢者避難指示命令が五所川原市に発令され、本部内潟療護園への避難となった。今後の避難誘導時改善点やBCP変更に役立てるため見直しを行う。

■　地震発生時の対応を利用者の方へ説明し、動画を見て防災への意識を高める研修を行う。

実施月日	実施内容	開催場所	参加人数
9月27日	水害避難に伴うアンケート実施結果とBCPについて	第二うちがた	職員35名
3月11日	地震発生時の対応と準備	第二うちがた	利用者15名 職員25名

③　災害メールシュミレーション

毎週第４木曜日に実施する。

きりん館・地域福祉センター

1　訓練状況

①　　きりん館：避難訓練（火災想定）：2 回実施

■　1 回目

実施年月日	令和 4 年 7 月 26 日　14：00～15：00
訓練想定	きりん館　夜間火災想定避難訓練
実施内容	夜勤職員 3 名による消火、通報、避難誘導を実施
参加人数	利用者　33 名
その他	見守り・救護・記録等　協力職員　10 名
所要時間	41 分 10 秒

■　2 回目

実施年月日	令和 5 年 1 月 19 日　14：00～15：00
訓練想定	きりん館　夜間火災想定避難訓練
実施内容	夜勤職員 3 名による消火、通報、避難誘導を実施
参加人数	利用者　30 名
その他	見守り・救護・記録等　協力職員　8 名
所要時間	36 分 40 秒

本　部

1.　実施状況

1.	新型コロナウイルス対策	青森県危機対策本部会議資料を参考に、法人独自の新型コロナ感染症対策確認事項を随時更新、各事業所において当該確認事項に則した対策を講じることにより、これまで法人施設内で利用者からの新型コロナ陽性者を出すことなく 5 類移行を迎えた。なお、感染症対策は令和 5 年度もこれまでのものを引き続き継続している。
2.	中期経営計画	令和 4 年度後半になり中期経営計画策定委員会を複数回開催し、令和 5 年度から実施する計画書の作成を終えて 3 月理事会で報告した。今後は計画を実行に移すため委員会の開催を継続し、目標達成に向けて法人一体となって進めていく方針である。
3.	各種補助金の申請	令和 4 年度次のとおり申請が採択された ①福祉施設等物価高騰対策支援金：県 2,500 千円、五所川原市 880 千円 ②学校休業等対応助成金：3,665,938 円 ③結核予防補助金：14,136 円
4.	雇用対策	昨年度に引き続き、企業説明会や出前授業等へ積極的に参加して新規雇用の獲得に努めた。令和 5 年度もユースエール企業認定を申請中である。また本年は介護サービス認証評価事業所の更新申請があるため、認証が継続されるよう準備を進めていく。法人 HP の更新は随時進めている。 R5.4 月新卒採用者 2 名（大学卒 1 名、専門卒 1 名） ①　企業説明会：９件（労働局、県社協、県庁、保健大、中泊町） ②　出前講座講師：２件（中里小学校、小泊小学校） ③　学生の施設訪問：２名（うち１名は採用となっている）
5.	障害者雇用説明会	特養きりん館が青森県労政・能力開発課主催の「障害者雇用事業所見学会」見学事業所となる。障害者を雇用していない県内の事業所に対して障害者雇用の現状を説明して雇用の拡大を得ることが目的。当日は見学 3 企業、オンラインで 12 企業の参加を受け、障害者雇用について現状を説明した。
6.	就業規則・給与規程の改正	働き方改革法改正から 3 年が経過したことを契機とし、求職者が魅力を感じる給与基準にすることを目的に、基本給の大幅改定を主とした給与規程の改正を実施した。
7.	津軽地方集中豪雨災害	令和 4 年 8 月 9 ・10 日津軽地方で集中豪雨あり。 ■ 8 月 9 日第二うちがた付近を流れる松野木川氾濫の恐れで避難指示が発令。第二うちがた及びケアホームの利用者が内潟療護園へ一時避難する。（第二うちがた 35 名、ケアホーム 10 名） 8 月 10 日避難解除。 ■ 8 月 10 日特養きりん館付近を流れる鳥谷川に氾濫の恐れがあり中泊町がきりん館に対し避難指示を発令したため内潟療護園へ一時避難する。（きりん館 33 名、福祉ホーム 9 名）8 月 12 日避難解除 ■当年度は 3 拠点で防災士の資格を取得し BCP の更新を実施した。この度の大雨被害を教訓に随時見直しをしていく。 ■社協が募集した当該復旧作業のボランティアに有志職員が自主的に参加し、中泊町及び鰺ヶ沢町において被災住民の復旧作業に貢献した。